

WAP371 のクライアント QoS アソシエーション設定

目標

クライアントが使用できることクライアント サービス品質 (QoS) アソシエーションがネットワークに接続される無線クライアントを制御するのに使用され帯域幅を管理することを許可します。クライアント QoS アソシエーションはまたアクセス コントロール リスト (ACL) の使用のコントロールトラフィックに許可します。ACL は割り当ておよび拒否状態のセキュリティを提供する収集、またはルールです。それらは許可されていないユーザをブロックし、許可されたユーザを特定のリソースにアクセスすることを許可することができます。ACL はネットワーク リソースに達する保証がない試みをブロックできます。

示すこの資料の目標 WAP371 の QoS アソシエーション設定を行う方法を。

適当なデバイス

- WAP371

[Software Version]

- v1.2.0.2

クライアント QoS アソシエーション 設定

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは **QoS > クライアント QoS アソシエーション** 『Client』 を選択し。 *Association* ページ クライアント QoS は開きます:

ステップ 2. *Radio* フィールドの望ましい無線周波をクリックして下さい。

オプションは次の通り記述されています:

- 無線 1 – 2.4 GHz 上の速度増加を提供したり、また干渉と汚されてまずないより多くのチャンネルを提供する 5 GHz の無線周波を持っています。ただし、それはより少ない範囲を提供するかもしれ、それをサポートするより新しいデバイスでだけ利用できます。
- 無線 2 –古いデバイスをサポートし、が 5GHz より大きい範囲を提供する持っていましたり、低速を持っています 2.4 GHz の無線周波を。

ステップ 3. (*VAP* ドロップダウン リストのクライアント QoSパラメータを設定したいと思う *VAP* を) 望ましいバーチャルアクセス アクセス・ポイント選択して下さい。 *VAP* が複数のブロードキャスト ドメインに Wireless LAN をセグメント化するのに使用されています。各々の無線型のための 8 まで *VAPs* ある場合もあります。

Client QoS Association

Radio: Radio 1 (5 GHz)
 Radio 2 (2.4 GHz)

VAP: VAP 0 (ciscosb) ▼

Client QoS Mode: VAP 0 (ciscosb)
VAP 1 (Virtual Access Point 2)
VAP 2 (Virtual Access Point 3)
VAP 3 (Virtual Access Point 4)
VAP 4 (Virtual Access Point 5)
VAP 5 (Virtual Access Point 6)
VAP 6 (Virtual Access Point 7)
VAP 7 (Virtual Access Point 8)

Bandwidth Limit Down: 0 Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: 0 Mbps (Range: 0 - 1300)

ACL Type Down: None ▼

ステップ 4 選択された VAP のための QoS サービスを有効にするためにクライアント QoS Mode フィールドの **Enable** チェックボックスをチェックして下さい。

Client QoS Association

Radio: Radio 1 (5 GHz)
 Radio 2 (2.4 GHz)

VAP: VAP 0 (ciscosb) ▼

Client QoS Mode: Enable

Bandwidth Limit Down: 0 Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: 0 Mbps (Range: 0 - 1300)

ステップ 5 伝送速度を帯域幅制限与えられるでビット/秒で WAP デバイスからクライアントに望ましい最大をフィールド入力して下さい。範囲は 0 が無制限の 0-1300 Mbps からあります。

Client QoS Association

Radio: Radio 1 (5 GHz)
 Radio 2 (2.4 GHz)

VAP: VAP 0 (ciscosb) ▼

Client QoS Mode: Enable

Bandwidth Limit Down: 500 Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: 0 Mbps (Range: 0 - 1300)

注: クライアント QoS モードは**ステップ 4** で、またクライアントで QoS > 実施される帯域幅制限のグローバル設定有効にする必要があります。

ステップ 6 伝送速度を与えられるフィールドの上の帯域幅制限でビット/秒でクライアントから WAP デバイスに最大を入力して下さい。範囲は 0 が無制限の 0-1300 Mbps からあります。

Client QoS Association

Radio: Radio 1 (5 GHz)
 Radio 2 (2.4 GHz)

VAP: VAP 0 (ciscosb) ▼

Client QoS Mode: Enable

Bandwidth Limit Down: 500 Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: 500 Mbps (Range: 0 - 1300)

注: クライアント QoS モードは [ステップ 4](#) で、またクライアントで QoS > 実施される帯域幅制限のグローバル設定有効にする必要があります。

ステップ 7.送信 (WAP デバイス-に-クライアント) 方向のトラフィックに適用するために ACL 型ドロップダウン リストの ACL の種類を選択して下さい。

Bandwidth Limit Down: 500 Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: 500 Mbps (Range: 0 - 1300)

ACL Type Down: None ▼
None
IPv4
IPv6
MAC

ACL Name Down: ▼

ACL Type Up: ▼

ACL Name Up: ▼

DiffServ Policy Down: ▼

DiffServ Policy Up: ▼

Save

オプションは次の通り記述されています:

- なし- ACL 型は選択されません。
- IPv4 - ACL は ACL ルールに一致のための IPv4 パケットを検査します。
- IPv6 - ACL は ACL ルールに一致のための IPv6 パケットを検査します。
- MAC - ACL は ACL ルールに一致のためのレイヤ2 帯を検査します。

ステップ 8. ACL 名前ドロップダウン リストの ACL の名前を送信方向のトラフィックに適用されるために選択して下さい。

Bandwidth Limit Down: Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: Mbps (Range: 0 - 1300)

ACL Type Down:

ACL Name Down:

ACL Type Up:

ACL Name Up:

DiffServ Policy Down:

DiffServ Policy Up:

注: ACL を選択するために、QoS > ACL クライアントの前もって設定された ACL ルールがなければなりません。詳細については、[WAP371 の ACL ルール 設定](#)を参照して下さい。

ステップ 9. 受信 (クライアント-に-WAP デバイス) 方向のトラフィックに適用するためにドロップダウン リストの上の ACL 型の ACL の種類を選択して下さい。

Bandwidth Limit Down: Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: Mbps (Range: 0 - 1300)

ACL Type Down:

ACL Name Down:

ACL Type Up:

ACL Name Up:

DiffServ Policy Down:

DiffServ Policy Up:

オプションは次の通り記述されています:

- なし- ACL 型は選択されません。
- IPv4 - ACL は ACL ルールに一致のための IPv4 パケットを検査します。
- IPv6 - ACL は ACL ルールに一致のための IPv6 パケットを検査します。
- MAC - は ACL ルールに ACL 一致のためのレイヤ2 帯を検査します。

ステップ 10. ドロップダウン リストの上の ACL 名前の ACL の名前を受信方向のトラフィックに適用されるために選択して下さい。

Bandwidth Limit Down: Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: Mbps (Range: 0 - 1300)

ACL Type Down:

ACL Name Down:

ACL Type Up:

ACL Name Up:

DiffServ Policy Down:

DiffServ Policy Up:

注: ACL を選択するために、QoS > ACL クライアントの前もって設定された ACL ルールがなければなりません。詳細については [WAP371 の ACL ルール 設定](#) を参照して下さい。

ステップ 11. DiffServ ポリシー ドロップダウン リストから望ましい DiffServ ポリシーを送信方向の WAP デバイスからトラフィックに適用されるために選択して下さい。

ACL Type Down:

ACL Name Down:

ACL Type Up:

ACL Name Up:

DiffServ Policy Down:

DiffServ Policy Up:

注: DiffServ ポリシーを選択するために、QoS > ポリシー マップ クライアントの DiffServ 前もって設定されたポリシーがなければなりません。詳細については [WAP131](#)、[WAP351](#) および [WAP371 のポリシー マップを作成すること](#) を参照して下さい。

ステップ 12: ドロップダウン リストの上の DiffServ ポリシーから望ましい DiffServ ポリシーを受信方向の WAP デバイスからトラフィックに適用されるために選択して下さい。

ACL Type Down: IPv4

ACL Name Down: ACL_test

ACL Type Up: IPv4

ACL Name Up: ACL_test

DiffServ Policy Down: policy1

DiffServ Policy Up: policy1
policy2

Save

注: DiffServ ポリシーを選択するために、QoS > ポリシー マップ クライアントの前もって設定された DiffServ ポリシーがなければなりません。詳細については [WAP131](#)、[WAP351](#) および [WAP371article のポリシー マップを作成することを参照して下さい](#)。

ステップ 13 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

Client QoS Association

Radio: Radio 1 (5 GHz)
 Radio 2 (2.4 GHz)

VAP: VAP 0 (ciscosb)

Client QoS Mode: Enable

Bandwidth Limit Down: 500 Mbps (Range: 0 - 1300)

Bandwidth Limit Up: 500 Mbps (Range: 0 - 1300)

ACL Type Down: IPv4

ACL Name Down: ACL_test

ACL Type Up: IPv4

ACL Name Up: ACL_test

DiffServ Policy Down: policy1

DiffServ Policy Up: policy2

Save